

# コロナに配慮 新年会は中止に 総会は5月頃を想定

令和2年度KGEOB会では、総会・新年会を開催(1月25日)したのを最後に、地球規模の新型コロナウイルスの跋扈により、活動の停頓を余儀なくされています。現役KGEの方も4月からオンライン授業の採用のためキャンパスへの立ち入りが禁じられ、4月恒例のクラブ活動の新入生勧誘ができないまま今日に至っています。このままでは廃部の危機も囁かれる事態に、OB会もなんとか支援の手を差し伸べられないかと、伊東和彦会長始め山本行徳名誉会長、早川陽一郎コーチらが奔走してささやかでも定期演奏会を開いて会の継承をと立ち上がっています。現役クラブでは国高OBらに声をかけてなんとかアンサンブルができるように態勢を整え、山本氏の教会の神殿を借りて週2回の合奏練習を始めています。また、当初定期演奏会用に集会場を押さえてあったものも、山本氏の好意で、神殿舞台と礼拝殿を借りることができ、学生たちも勇躍プログラム作りに取り掛かり、許された時間の中で懸命に練習しています。OB会が若者たちに手を差し伸べて定期演奏会の継続、ひいてはクラブの存続に寄与できることは、本OB会の設立の趣意にも叶うものと言えましょう。ぜひ大勢のご来場をお願いいたします。

さて、現役の存続ばかりでなく、当OB会の存続も忘れてはなりません。この1年間のOB会活動の停滞により、年会費の納入まで滞り始めています。今回『たはごと』発行に合わせて振替用紙をお送りさせていただきました。ぜひ会員各位の熱いご協力をお願いする次第です。



國學院大學ギターアンサンブル OB会報  
「たはごと」第83号  
発行/令和2元年12月10日  
発行人/伊東和彦  
編集人/長尾和彦  
発行所/西東京市南町6-6-16  
-114 ☎042-466-0182

## OB会員の皆様へ

### 「プラスワン」希望の光を忘れずに

OB会会長 伊東 和彦

寒さが身にしみる季節となりましたが、OB会会員の皆様におかれましてはお元氣でお過ごしでしょうか。今年はコロナ禍の影響で大学封鎖が続く、学校にも行けない学生達はオンライン授業により本来の学生生活を送れず寂しい時間を過ごしています。教室も使用できない為新入部員の勧誘活動もままならず、クラブ活動にも支障をきたす毎日をお過ごししているのが現状です。

この度、山本名誉会長のご好意により、練習場と定期演奏会の会場を提供して頂くことになり、何とか発表の場を設ける事が出来ました。この上ない喜びと感謝の念に堪えません。

今年OB会で推奨している同期会の開催も出来ないところが多く、閉鎖された生活の中で密を避ける為、様々なイベントも中止になり、積極的なOB会活動が出来なかつたのが現状です。

今後の予定ですが、2021年1月に予定していた、OB会総会・新年会はコロナ感染防止の為、新年会は中止、総会は延期とさせて頂きます。コロナ感染がどう推移していくか状況を見ながら、できれば5月上旬頃の開催を想定しています。

KGEOB創立六十周年記念行事は2021年秋を予定



草創期の講師だった新堀寛己先生と。19年夏のニイポリ公演で楽屋訪問、お話し頂いた。

していますが、来春にOB総会を開き、会場手配、コロナ禍の感染防止に配慮しながら開催する方向で考えています。現時点の状況ですと開催は厳しいものがありますが、「出来ないのではなく、どうしたら出来るか」という前向きな発想で、KGE魂で知恵を出し合い進めたいと思います。

先般、池江璃花子さんが「TOKYO2020年今日、これからの1年を単なる1年の延長ではなく、『プラス1』にしたい」と語っていました。それはとても未来志向で前向きな考えだと思えました。

新型コロナ禍はまだしばらく続きそうですが、来年KGEOB創立六十周年行事が開催されることを願って、我々の日々の生活に於いても希望の光を忘れず前向きに行動し、一年後元気な顔でお会い出来る事を楽しみにしております。

総会・新年会

コロナ騒動最初期の原宿に24名



写真、前列左から大川博、大久保祐輔、中西教夫、山本行徳、榊田嘉津雄、長尾和彦、佐藤光男、2列目、伊東和彦、大野浩二、高杉正行、樺山資孝、中村善保、中山俊夫、河野行広、3列目、高橋幸宏、高橋康夫、持田正、柳下真梨子、黒岩健太、4列目、中村裕一、早川陽一郎、渡邊健一、黒岩健汰、浅井未那美、三善拓美のみなさん。

恒例のKGE OB会総会・新年会が、去る1月25日(土)午後6時から、原宿ラ・ブーレットに於いて開催された。四国から駆けつけた4期の榊田嘉津雄氏始め24名のOBが集まった。新5期からの若者世代も5人が顔をそろえた。5日ほど前に初めて

コロナ死者が出て、出席者は少なくなりそうだと、幹事達の懸念も吹き飛ばしどうにか格好が着いた。私は慌ただしく直前まで総会資料の印刷をし、伊東会長に電話して少し遅れるからと伝えてあった。しかし30分前には到着。



挨拶に立つ伊東会長

店内では幹事達がビンゴゲームの賞品仕分けに余念がない。私は印刷してきた会計監査報告書に急ぎ捺印。監査役が欠席で、会計の中山俊夫氏と伊東会長が代理捺印。

6時から河野行広副会長の司会進行で開会。議題表に沿って進行していったが、冒頭の黙祷を飛ばしていたので、6期の内田益夫氏の計を伝え、改めて黙祷を捧げた。令和1年の事業報告の後、会計報告と事業計画も承認された。

伊東和彦会長は、「来年はKGE創立60周年を迎えるので、「還暦60周年記念大会」を春に若木タワーにて開催予定です。来年の新春総会には期別幹事の皆様にも参加して頂き、「創立60周年行事」の決起大会として開催します。常連の皆様、新OBの皆様と共に盛況な会にしたいと思います」と高らかに宣言した。

この後新年会に入り、新人を代表して柳下真梨子さんが乾杯の発声、お洒落な料理に舌鼓を打った。円卓には自ずから近い世代が集まり、近況を交わし、回顧談に時を忘れた。宴たけなわの頃ビンゴゲームを楽しみ、最後は円陣を組んで部歌「若き日の」を声高らかに歌ってお開きに。

なお来年の新年会は中止が決まりました(一面参照)。60周年記念行事についてはこれから幹事会を開いて決めます。【長尾】



挨拶に立つ山本元会長、右は奥に新OB達が顔を揃えた。

出	席	者
2期	山本	行徳
	中西	教夫
	大久保	祐輔
4期	大川	博
	榊田	嘉津雄
	長尾	和彦
5期	佐藤	光男
7期	高杉	正行
	中村	善保
12期	伊東	和彦
	樺山	資孝
13期	大野	浩二
	高橋	康夫
	高橋	幸宏
14期	中山	俊夫
18期	河野	行広
20期	持田	正
	中村	裕一
24期	早川陽	一郎
新5期	柳下真	梨子
新7期	渡邊	健一
新8期	浅井未	那美
	三善	拓美
	黒岩	健汰

# コロナ打倒の定期演奏会に向けて

## 後期から練習再開 新入部員も！

24期 早川陽一郎(KGEEコーチ)



### 第33回定期演奏会

日時：12月26日(土)  
開場 14:30 開演 15:00  
会場： 八津御嶽神社(交通：丸の内線・大江戸線 中野坂上駅より徒歩8分)

【お断り】本号記事は11月10日時点での予告で、当日までに不測の事態が起きないとも限りません。冬に向かって第3波の到来は既に必至だとされています。現時点で何が起ころうともおかしくない。コンサートをなりわいとする我々は1年先まで見据えて活動しています。それは学生といえども例外ではありません。KGE定演も当日を迎えるまでどうなるかわかりません。コロナ第で公演が中止になることも考えられます。コロナに立ち向かって闘っている学生達を応援に行くOBは沢山いると思いますが、直前情報をしっかりとってもらうために窓口を以下に設定します。定演実施の可否を確かめて来場ください。

●090-6158-1489(伊東和彦)  
●090-4749-4607(長尾和彦)

世界中がコロナ禍に見舞われた2020年、現役の活動も過去に例を見ないほど厳しいものでした。新年度開始早々の新型コロナウィルスの流行により、春合宿は議論の末直前にキャンセル。活動のスタートを切れない

まま4月を迎えたわけですが、そこから新学期は予想もできないようなものでした。授業は始まりず自宅待機が続き、大学へ足を踏み入れられないのですから新入生がいつまで続くのか・・・と思いがいつまで続くのか・・・と思いがいつまで続くのか・・・

ながら季節は夏に突入しました。6月の関東学生ギター連盟定期演奏会も当然中止。9月になって後期が始まりました。オンライン授業が継続され事態は一向に好転していませんでした。学校が再開されていないのですから夏合宿も行えません。秋の若木祭も中止となりました。

流石にこのままでは何もできずに一年が終わってしまう。それ以上に、勧誘も行えない状況では部の存続も危ない、という状況でした。実は、付属高校の國學院高校ギターアンサンブルも同様の状態で、新入生がわずかに1名とのことで、このままでは「國學院のギターアンサンブル」という火が消えてしまいうまい兼ねない状況となっていました。この事態を打破する為に高校OBである大学生に声かけを行い、新たに6名が活動に参加してくれることとなりました。このメンバーが加わるまで、実は3年生が2名、2年生が2名、の計4名という状況でした。さらに就職活動を終えた4年生が4名戻ってきてくれたので、総勢でやっと10名を超えるアンサンブルを維持することができました。

次の問題は練習場所です。大学が使えない為、公営施設を予約したのですが、予約は抽選の為、定期的な活動の継続ができません。練習目が不規則であると参加者も集まりません。困り果てていたところに、山本行徳さんからお声かけ頂き、山本さんの神社を練習場所として提供して頂けることになりました。これにより毎週水曜・土曜という従来の練習体制を維持することができるようになりました。山本さんには本当に感謝しております。

人が集まり、練習場所が確保できたとなると、次はいよいよ演奏会です。実は当初、下北沢の多目的ホールを押さえていたのですが、コロナの関係で集客の方向性も不透明であった為、このまま予約をキープして良いものか悩んでいました。そこに、演奏会場としても山本さんの神社の神殿前を借らせて頂ける、というお話を頂きました。神社といっても古めかしい環境では無く、モダンな大理石の舞台があり、客席も百席ほど用意できるとのこと。場所も中野坂上と、都心の好立地です。今回は一年の半分以下の活動期間で、出来る事も限られているという背景もあり、コロナの動向を考えてもキャンセル料を気にしなくてよい環境を提供して頂けるのは非常にありがたいことです。例年のような規模での開催は難しいですが、コロナ禍の困難の中、コツコツと積み上げてきた練習の成果をお見せしたいと思えます。

演奏曲目は、巷で驚異的なヒットとなっている「鬼滅の刃」からの選曲など、どうしても最近のものが多くなってしまうのですが、神社をお借りできるということで、その場所に合った音楽をと、バロックの小品を集めたメドレーも用意させて頂きました。短い時間の演奏会となると思いますが、ご来場頂いた皆さんにお楽しみ頂けるような音楽をお届けできたらと思います。今年度唯一の演奏会、部員一同「全集中の呼吸」で臨みます。是非ともコロナに負けず、会場へお集まり下さい。(マスクは忘れなく！)

# 内田益夫(6期)氏が死去

## 家族に見守られ静かな旅立ち

6期の内田益夫氏が令和元年1月14日に亡くなった。6期は米村昌晏氏に続いての訃報です。当時同じパートで一緒にギターを弾いていた浪井(旧姓隈川)澄子さんが友情溢れる素敵な追悼文を寄せてくれた(本年4月2日)ので掲載します。

### 内田益夫君を偲んで

#### 6期 浪井澄子(旧姓 隈川)

内田君の訃報を耳にしてから早数か月、改めてアルバムを探してみると大学二年生の時の姿を見ることができました。私も内田君もサードパート。そこに緊張のせいであまり丸めていた私、隣には、背筋をキリッと伸ばし真剣に指揮者を見ている内田君が写っていました。「ウワァー、私も



【写真上】2年生の春(昭和41年4月)オリエンテーションでの新入部員勧誘の時のもの。右は同期の原鎮夫氏、カポタストを5フレットに嵌めているのはレキントギターとしてパンチョスナンバーを弾いているものと思われる。  
【写真下】イケメントリオ。右から内田、原、藤村各氏。4年の合宿の納会にて。

頑張らなくちゃ!」と思ったものです。その後二年三年の夏の合宿、演奏旅行、定期演奏会等、その集団移動の中で、いつも穏やかに微笑んでいた内田君は、今どきで言うなら、その端正な顔立ちとにじみ出る品格も併せて「スマイル王子」の趣がありました。同期のイケメン数人でバンドを組み、息もピッタリなカントリーウエスタンの曲を、クラシック音楽の練習の合間に、楽しそうに披露してくれた事もありました。中でもキングストン・トリオの「グリーンバックグラウンド」という曲はとて上手で、コンパで披露してくれたら、ラジオのコンクールにも参加したとか、噂を耳にしたものです。同期は勿論、下級生にも人気者だった素敵な彼の姿が、昨日のことのように想い出されます。あれからもう50年という歳月が流れていたのかと思うと、感慨無量です。サード

は合奏曲の中ではどちらかというと曲の土台のような役割を担っていますが、彼はまさに「ギターアンサンブル」6期の土台の役割をしつかりと果たしていました。でも、彼は決してしゃしゃり出ることはせず、そういつでも冷静に物事に取り組んでいたようでした。青春の真只中、大学生活の1ページに「ギター」という音楽を通して共に過ごした友を失ったことは、懐かしさと同時に私の中では、枝が一本折られたような寂しさを感じております。

春のお彼岸に入り、季節の移ろいを感じながら想い出に浸りペンをとっています。今回この追悼文の依頼を受け、第二の人生に追われている日々の中で、久しぶりに懐かしい友に再び出会える機会を頂き有難く思っています。

卒業してからはOB会で数回しかお会いできなかったのですが、奥様、お子様に囲まれて静かに旅立たれたとお聞きしました。彼のご冥福を、6期一同、心よりお祈りいたしております。合掌

### 【7面の続き】

●ギター弾き語りの原庄介さんと周防大島に公演付き添いで同行、星野哲郎さんの愛妻朱美さんの姉の葉子さんの死後百日祭に参列した。たまたまこの日の朝、妹の亭主が亡くなったというので急ぎ帰京した。

その後間もなく3月15日に原さんから電話があり、「庄介の隠れ家」と通称しているギター弾き語りの会を、レッスンスタジオを移転後初めてやるので来てくれと言う。毎月第3日曜日と決まっております、北オケの練習日と重なるので顔を出すことができないでした。コロナで北オケの方が練習休みになつていたので出かけた。三鷹駅に行き電話を入れたが通じない。前のスタジオに行つたが閉まつている。隣の店で聞いて探して行くところとちよとど始まるころだった。窓は開放されているが、30人ほどの席は三密なんのその。参加者全員一曲ずつ持参の曲を弾き語りする。ほぼ、ぼくらと同世代だ。半分は知らない顔。一通り弾き終えたところで、長尾さん、何かやってよときた。ぼくは前に出て周防大島行きの手末を話した。そして原さんに伴奏を頼み、レキントがないので、5Fカポタストで「ベサメ・ムーチョ」を歌った。さすが原さん、勘所を得た伴奏で嬉しくなる。すぐにアンコールの声。「キサス・キサス・キサス」もやつて打ち上げに。スタッフが準備を始めようとしたその時、ドアを開けて現れた男が、ギターを出して弾き始める。原さんが、山本行徳さんの後輩で北島良太郎さんですと紹介する。なんだ、北島(15)かあ、がんばって! 因幡晃の「涙よ今祈りになれ」を歌った。上手い! 彼は一言二言言葉を交わしただけでそそくさと消えた。お母さんの介護が大変だったか。山本さんはここでも有名人だった。

第19回 KGE杯

千代田正剛氏2度目V



豪華クラブママ4人が饗宴



母ちゃん獲ったど〜、優勝の千代田正剛氏

8月にマイカーを倅に譲つてもう車は卒業し、駐車場をキャンセルした途端、通りで足がもつれて膝に血塗れの大怪我(？)。思い直してエコカー減税のキャンペーンに担がれて老人仕様の小型ボックスに買い換えた。ところがキャディバッグが横向きで載らない事が判明し、いつもの地元メンバーを全員乗せる事ができず分散集合に。私は、深大寺の旦那さんと、参加賞の生蕎麦は最低運ぶ責任があつた。同じ長屋の大越さんと深大寺を乗せるともう満杯だ。寄居CCは昨年と同じ会場で、嵐山小川ICを降り、里山生活に憧れて畑付きの古民家を買ひ、東京から移り住

錦秋の11月10日(火)、埼玉県の寄居カントリークラブで、第19回KGE杯秋の陣が開催された。春のコンペはコロナ禍の元、中止が決定、それでも熱心な会員から有志でやるよの声もあつたが、ディフェンディングチャンピオンの河野和代さんと夫君の行広氏が担当幹事で大事をとって中止にした。かくしてKGEのゴルフ大好き人間が待ちに待ったコンペに、フルゲート20人が参加して、好天下コロナ巣籠もりの憂さを大いに払った。表彰はパーティなしでロビーの片隅で飲食抜きで済ませた。優勝は、第2回の覇者千代田正剛(8期)氏で、最近ゲストにさらわれていたカッパを久々正会員が奪取した。勝馬投票は有志だけでのお楽しみ。今回も深大寺八起の大久保祐輔(3期)さんのご好意で全員に生蕎麦を戴いた。感謝感謝。

第19回KGE杯コンペ成績表(ハンデ戦) 寄居カントリークラブ(令和2.11.10)

Table with 8 columns: 順位, プレーヤー, OUT, IN, GR, HD, NET, 新HD. It lists the performance of 20 players in a golf tournament.

優勝/千代田正剛 2位/栗野悟 3位/村井和之 ベスグロ/中村元貞(83) ドラコン/河野和代(4番) 千代田正剛(11番) 松本カルメン(13番) ニアピン/中村元貞(14番) 河野行広(18番) ブービー/高荷知寿子 (敬称略)

次回は令和3年5月18日、会場は未定

んだ倅の家の下の交差点を右折して5分も走ればコースに着く。深大寺経由がなければ倅の家に前泊できるんだが...。当初、コンペを実施するかどうか幹事の河野君と思案したが、実施の声が多いことも勘案して4組だけ取ってもらった。ところが16人を早々と超えて4組では収まらず、幸い追加の1組が取れた。ならばと田無で最近出没するようになったカラオケパブのフィリピーナのカルメンママ、大谷隆弘君の馴染みの小料理屋の高荷ママ、それに高橋康夫君の銀座の真里ちゃん、最後に同君馴染みのオカママ、村井ママがエントリしてちょうど20人になった。事務局はゲストの多彩な顔ぶれを平和に組み合わせる難題に、ない知恵を絞った。

9時10分、インスタート。私は大谷君の脈で組んだ高荷ママと、銀座で有名なオカママの村井ママで2組目だ。打ち下ろしの1番ホールは前回いきなり左に曲げてOB スタートだった。今度もまた、ティアップするや高橋君がハイボールの缶を差し出して飲ませる。でも前日の練習通り打つたらチイスショー。だがそこまです。後は大谷君用意のビールを飲ませ(？)て、いつもの通りジグザグ迷走、それをゲイのママが優しくサポート、ゲイは老人にも優しい。結果は別掲の通りゴルフに真面目に向き合っている千代田君の2度目の優勝で幕を閉じた。解散時に田無組とひばりが丘組の19番ホールは田無のフィリピンパブでと言いおいて帰宅。私はマンション住人の井上さんと大久保旦那で店に行くと、頼んでおいた上寿司の大鉢2つと焼き鳥が並んでいた。大谷から、高橋が潰れたので、今日はパスと電話が入る。食い切れない寿司をおみやにして、深大寺まで帰る大久保タクシーに家まで使乗したが、5、6人で飲むはずだった勘定を3人で割り勘、大散財だった。そのうち埋め合わせよう絶対！(長尾記)

宝生九日寄席 百回記念祝賀会

地域に根付いてマスコミも注目

ひふみ会から生花も 2期 山本行徳

KGE創設者2期山本行徳さんよりコロナ禍でのOBだよりが届きました。

OBの皆様ご活躍と存じます。

毎朝9時、職員と疫病消滅祈願祭を勤めております。宗教は人が来るこないにかかわらず、今祈らずして何になるを役目と勤めています。ところで寄席は笑うことこそ免疫が上がります。清めて笑う、恐れなしのこころを引き締めて行きましようの日々です。

さて、私どもの神社の(宝生九日寄席)が平成24年2月9日以来、毎月一回開いて、百回目を迎え、去る8月9日に祝会を催行いたしました。KGEOBひふみ会の皆様より見事な生花を添えて頂き、特別の夏！ 蜜の蜜の盛会で、めでたく取り納めました。



氏神さまではない、文科省の単立宗教法人の神社は、地域との交流とは薄い立場にあり、しかし、地域あつての神社としても価値観を求めながら企画したのが「地域寄席」でした。またこの間には東日本大震災にも遭遇し、「絆」という人々の心に響きを感じました。

寄席の後にはカラオケではなく、ピアノ伴奏とともに歌う懐かしき唄のプログラム、これが別枠でジャンソソカンツオーネのほろ酔い唄会も、今独立して開くことになりました。100回の継続は力を実感し、マスコミから注目されました。そのような流れで盛り上がり、100回を迎えることができました。はじめの時であると、次年度からは年4回くらいにして、次への新たな企画は何かと心ひそかに模索しているところです。

学生時代からじつとしていることが、出来ない私の性分です。ギタークラブを創立し、創り上げた魂を大切に、明日のために死ぬまで夫婦共々元気に過ごしてゆきます。中西教夫君、奥様、大久保祐輔君、ようこそコロナにも負けずご参加ありがとうございました。

コロナ禍～ひふみ会の動向 3期 中西教夫

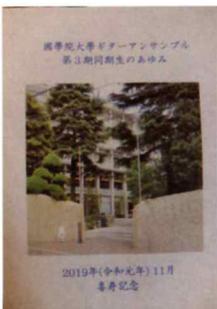
この時期だからこそ何か明るい話題を考えたが…。春夏秋冬年4回開催している「ひふみ会」も、このご時世では如何ともし難い状況に至っている。年初2月新年会で顔合わせした以降、次の開催が何時になるのか判らない状況の中で待たされ続けていた。その為か揃って会えない会員の不満は頂点に達していた。それを解消すべく漸く10月29日、表参道・隠れ坊に8名が集結した。毎回歌える店での会合、今回も然り。しかし、今回は最後までお喋りだけに徹して誰一人唄を披露しなかったのだ。コロナ禍が成せる業か、終宴まで積もり積もった話で盛り上がる集いとなった。お陰様で11名の会員全員がウイルスに脅えることなく元気に過ごしている。

2017年に齋藤紘道先輩が逝去された後、奥様・洋子さんがメンバーに加わり会員11名は今でも維持されている。会の趣旨が時代とともに変化してきた。誰も同じで寄せる年波には勝てなくなって来た対策として、夫婦同伴を呼び掛けた結果、伴侶にも出席して貰えるようになってきた。遅い帰宅を一人で待ち続ける心配はなくなったのである。この先も何かを口実にしてこの集いの継続を計画していきたい。差し当たっては八津御嶽神社で開催されるKGE定期演奏会と忘年会に指標を定めることにしたい。

3期会記念誌を発行 喜寿を迎えて

KGEで知り合えた7人の仲間達、誰一人欠けることなく何と58年間に及ぶ交友が続いている。よくぞここまで続いたな！ 感嘆の一言。それも偶に会うとか、互いに「ご無沙汰することは一度もなかったのが不思議である。何だろうこれは、腐れ縁だから、いや、無二の親友となつている証拠ではなからうか。

今年喜寿を迎えた。昨年11月に前祝いを開催した際、「3期同期生のあゆみ」を作成した。1962年入学、66年、第74期で卒業した。全文はご披露できないが目次を別載、往時の懐かしい内容をご覧頂きたい。



記念誌の表紙

- ☆表紙 國學院大學ギターアンサンブル第3期同期生のあゆみ
- ☆目次・添付資料一覧☆國學院大學空中写真
- ☆國學院大學校歌☆國學院大學の歩み
- ☆校内風景写真(現在)☆卒業年度(1966年)入学案内パンフレット☆藝科夏合宿集合写真
- ☆第74期卒業式写真☆同期会写真☆ひふみ会 食事会写真☆KGEOB 会長・山本行徳さん「ご苦労さま会」☆八津御嶽神社 天井絵奉納式☆KGE 創立 50周年記念祝賀会(新堀寛己先生を囲んで)40周年記念祝賀会集合写真☆KGE 創立 50周年記念祝賀会集合写真☆KGE 創立 50周年記念植樹 金木犀☆同期「古希を祝う会」集合写真☆同期「喜寿を祝う会」集合写真 小黒子
- ☆敏郎☆奇稿文 山正富☆奇稿文 高塚順子
- ☆奇稿文 中西教夫☆週刊ポストに掲載された蔡焜燦氏☆酔人閑話「九転十起き」
- ☆令和の儀式\*天皇退位正殿の儀\*天皇即位後の一般参賀\*天皇即位礼正殿の儀\*大嘗祭\*大嘗宮一般参賀☆年表\*日本の歩み 1930年~2016年\*平成30年を振り返る
- ☆和暦・西暦対照☆あとがき

# 編集長の 落し穂拾ひ

●「GG杯」というギター業界のコンペがある。日本の名工、故河野賢の冠コンペ「河野杯」が前身で、いずれも月刊『現代ギター』に連なるギタリストや製作家、ジャーナリスト、楽器店などが顔をそろえる。ぼくは河野杯時代から誘われて月1回の芝刈りに精を出してきた。

そのコンペで、最近顔を見せるようになった神奈川のギタリスト、堀井義則さんからコンサートへの誘いを受けた。堀井の師、宇賀神昭さんとぼくの3人は、プービーかメーカーが指定席(?)になっている。

2月9日(日)、横浜から市営地下鉄に乗って吉野町で降りた。吉野町市民プラザの4階ホールが会場だ。堀井義則ギターコンサートと掲

## 比嘉隆則氏アンサンブルに出演



左端が堀井義則、4人目が多治川純一、右端が比嘉隆則各氏。

げており、堀井がここで05年からギターワークショップを開講しているようだ。市民プラザは開館30周年に当たる。

第1部が堀井のソロで、有名なスペインのギター曲を7曲(曲目割愛)並べた。第26回東京国際ギターコンクールで優勝した技量は微塵も衰えておらず、スペインの香りを豊かに届けてくれた。

後半は、講師陣と堀井のデュオで始めに渡邊史明とYELL「ホテルカリフォルニア」を弾いた。続いてクワトロパロスの多治川純一と「アラソフエス」第二楽章「モリエール」を弾く。最後に8人の講師総出で「モッキングバード」

「D」ロック名曲メドレー「カナリヤより(竜血樹の島)」を演奏。パトリックの広さとポップな演奏で聴衆の熱い拍手を送られていた。

堀井門下の比嘉隆則(26)氏もアンサンブルに出演、端正な演奏スタイルを見せてくれた。

終演後ロビーで立ち話。過去にアマコン入賞の実績もあり、大病を抱えながらアンサンブル指導スタッフとして、堀井を支えているそうだ。夫人の教子さんはKGE同期で、高校勤務、やはり堀井門下でギターは続けているやに聞く。

### 落穂の落穂

会場を出るとまだ日が落ちていない。横浜にはオケメンバーなどいくつかの女の顔が浮かぶ。だが、最近では電話をかけることに躊躇いが伴うようになってきた。今日もさる未亡人を誘ったのだが、すげなく断られたこともあり及び腰になっていた。その方面に面倒くささが先に立つ。ならばとすぐそばにいる同期(4)の小林広海に電話した。すぐに現れたので中華街へ。安そうなお店を選んでのれんを潜る。乾杯して久闊を叙す。

4期は恒例の旅行会を彼が幹事で年一回実施してきた。今年も春先に山陰に集まることが決まっていた。出雲の加藤和代さんがみんなを歓迎すると首を長くして待っていた。それがコロナで押し流されてしまった。クーポンも予約済みだったのに……。OB会の各期においても事情は同じだろう。同期会情報がとんと集まらない。ホットな情報待つてゐよう。

## 原庄介氏と故郷帰省

●2月19日、ギター弾き語りの原庄介さんより電話があった。周防大島つて確か長尾さんの島だよ。22日に呼ばれて子守唄を歌いに行くんだけど、一緒に行かない? 母の死後ここ数年帰省を予約した。幸い彼と同じ便が取れた。

2月22日、羽田に発券ギリギリに滑り込み。僕が乗り込むのを待つて昇降扉が閉まった。ファーストクラスの席を抜ける時、見覚えの顔があった。参議院議員の林芳正氏だ。すぐに声をかけると読み差しの本を閉じて顔を上げた。そして懐から自分の名刺を返す。その素直さは「平原児」のゲイリー・クーバーの0.4秒もかくやと思うほど(古いなあ)。ぼくの名刺の周防大島町人会長の肩書を見て、すぐに山口県会議長の名前が出る。周防大島出身の高校の後輩だが、全国都道府県会議長代表として皇居にも参列した。聞けば岩国で講演があるのだと言う。

8時55分離陸。ベルト着用サインが消えるや後ろの席の原さんに挨拶。同行の西館好子さんたちが周りの席を囲んでいた。岩国錦帯橋空港に



↑前列右から4人目が長尾、5人目が原さん。



←右奥に墓碑が建っている。

は周防大島から迎えの人々が車を用意してあった。大島大橋を渡る。ドイツの海運会社が所有するマルタ船籍の貨物船が大橋の橋梁に衝突し、水道管と光ファイバーケーブルなどを切断する事故が発生して名を馳せたのはもう2年前だ。

橋のたもとの大島文化センターで、午後2時から「ふるさと」の空に唄おう! 開演。ぼくは客席に回る。地元のママさん、コラスが前座で、西館さんは司会。メインの原さんが登場して全国の子守唄をギター弾き語り。その途中だった。原さんが突如会場を見回して、長尾さん「どこですか」と声をかけステージに引き上げた。譜面を広げて歌えと言う。見れば寅さんの「男はつらいよ」ではないか。「ちよつと待つてよ、そんな殺生な」、でも今更後には引けないので、腹を据えた。前奏に続いてテキ屋の口上「啖呵走が入る。柴又葛飾で生湯を使い」とあるところを、即興で瀬戸の渦潮で言い換え、長尾八幡宮の物領の甚六と発しやすとやつて、原さんのギター伴奏で最後まで歌った。長尾さんはこの作詞者星野哲郎先生の親戚だから、当然知っていると考えてのサプライズでした。と原さん。ぼくを誘ったのはこれだったのだ。

終わってロビーに出るとぼくの従姉妹の娘が待つていて、ぼくの登壇にびつくり。ちよつといいわ、明日星野葉子さんの死後百日祭なので、一緒に行つてくれと言う。今夜そばのホテルに泊まって原さんと一献傾ける予定だったが、急遽タクシーで実家に帰った。実家ではコロナ禍の突然の東京者帰省で騒ぎされたが、翌日弟と共に嫁の運転で筏八幡宮に行く。代々星野家が宮司を継いできた。弟が斎主を勤めた。葉子さんは星野先生の愛妻、朱美さんの姉にあたる。神事が終わって、星野家の墓所に移動して墓前祭。哲郎さんの眠る墓の隣には、淡い朱色の御影石に、朱美さんへ捧げる愛の詞章が刻まれてあった。

# OB便り

●益々ご健健の様子お喜び申し上げます。当地も長雨続きですが、水害等もなく農事を楽しみながら、また孫の朝夕の送迎で毎日を過ごしております。

●蓼科の8月恒例の長尾家別荘合宿ですが、現状の家庭内事情では今回の日程への参加は困難で、断念せざるを得なくなりました。私も楽しみにしている年間の一大イベントでもあり断腸の思いです。持参予定の野菜も入念に育てていましたが、お誘い頂きながら誠に申し訳ありません。同行予定の5人の方にも宜しくお伝え下さい。

●毎日見聞きする首都圏での感染症の状況に在京及び近郊在住の皆さんの安否が気がかりな毎日です。コロナ禍は長野県へも忍び寄り人数は少ないですが連日の陽性者が発表される状況です。当地上田市内でも複数の感染者発表もありました。その方々が地域での生活に差別的な扱いを受けたり、職場にいられず退職したり転居されたりする事例も起きています。地域性のないのでしょうか、誠に残念に思います。県の新たな条例も示され対策されております。

●私共家族も、幼児がいることや家内が肺炎の長期治療、また医療介護従事者があるため自粛生活が春より続いております。夜の飲食や日常の外食も今年に入って二度もしてない有様です。地域や団体のゴルフコンペも春・夏・秋すべてが中止です。今年に入って仲間のプライベートゴルフも一度もありません。秋までの祭事・行事・イベント等も縮小やほとんどが中止の状況にやるせなさも積もります。蓼科に近い南信諏訪方面(中信・松本・安曇野方面)で陽性者報告が続いておりますので外出時は十分

配慮されて楽しい3日間を満喫(お過ごしください)(羨ましい限り)。(4期 久保田章夫)

●伊東先輩 長尾先輩 河野先輩しばらくの不在お許し下さい。同期の案内も数名ラインで繋がっておりますので、連絡しました。

●定年延長機会に、やりたかった仕事に最後に就け、今静岡県浜松市に単身赴任で居ります。仕事はマリンの関係で船外機というボートに付けるエンジンもHondaはヤマハと同様に作っていて、主にアメリカと欧州をマーケットに取り組んでいます。船の免許も二級から更にこちらに来て二級を取り、仕事や私的に会社のボートを操船しています。海外への出張もひかえ、体力を付けています。たまの休日は、浜松は音楽の都、コンサートを聞くようにしています。懸賞で当たった五嶋みどりやオーケストラにも行けたり、市や県外の交響楽団のコンサートなども盛んで、たまの休日にも充実しています。

●そんな中で、テレビ朝日の題名のない音楽会で、年に一回「夢響」という視聴者参加番組があります。それに応募したところ、オーディションへ来て欲しいとの連絡を受け、この度受けて参りました。何をやったのかはまだ内緒で、オーディションがもし通ったらお教えいたします。お楽しみに。これには裏がありまして、オーディションの審査員が村治佳織だったので、まずオーディションに行つて会える事しか考えず、どういう内容で応募したら通るかを思案しました。前にも何度か応募しましたがいつも梨の礫、今回も何度か応募しましたがいつも梨の礫、今回は還暦イヤという事で二度も経験の無い楽器演奏でチャレンジ応募しました。オーディションの連絡を受けてから必死で練習、ただ身近に楽器がない事と仕事が忙しくてヒマがなかったこともあり主にイメトレでした。いざオーディション本番、浜松のテレ朝

から戻るといふ慌ただしい移動と緊張で、村治佳織の事はすっかり忘れ、またオーディション会場に入つても、審査員がどこに座っているかも見ないで、持ち時間わずか1分半の中で臨み、あつという間に終わってしまい、帰りの新幹線の車中で気付いた次第です。ま、出来は80点、若い方の参加多く、年寄りもいましたし、私のグループだけでなく、東京で二日グループ約200人、地方でもあるから1000人の中から選ばれている2〜3人なんてかなり難しいものと捉えています。私なりに出来は良かったので乞うご期待、結果はまだ。

●では『たはごと』発送お手伝いに行けませんが、よろしく。

●19期 小林雅光  
着信日時が抜け落ちていたので、掲載が前後するかもしれませんが埋め草に使わせてもらいました。(長尾)

●新3期の箕口和行と申します。いつも『たはごと』楽しく読ませて頂いております。引越した為、住所変更致しました。

●大学を卒業して5年経ちますが、もう一度ギターを改めてやってみようと思ひ、2年からアコギとエレキギターを習い始めました。大学時代にクラシックギターに触れておいて良かったなと感じています。やはりギターは楽しいです。

●T93918091 富山県富山市旭町2-30フルーリアサト3006 (新3期 養口和行)

●17期のKGE OB会員より神谷久美子さん(旧姓 飯塚さん)が昨年亡くなりましたとの報告がありました。

(11月6日 河野行広)

## 編集後記

▼未曾有の国難に明けた1年が暮れようとしている。400余のOB会員は恙無くお過ごしだろうか、気がかりな1年だった。OB会は新体制でスタートし、来たるべき創部60周年の記念事業を成し遂げるべく、まなじりを決して号砲を聞いた。しかし新型コロナウイルスは全国の大学を直撃、新学期のクラブ部員勧誘ができず、クラブの存廃に関わる事態に直面している。かくてはならじと本紙所掲の如く、早川氏などの並々ならぬ奔走で辛くも体制維持となり、山本氏のご協力を得て定期演奏会が実現しそうだ。▼それこそOB会のレゾナントがある。是非とも定演の日は今から空けておきたいものだ。▼本紙も年2回の配信をやめて年末1回の送付に変えた。情報も少なく我が身辺の出来事で埋めた。コンサートはすべて流れ、コンクール審査員も全部霧消。招待を受けた村治清志らも皆消えた。村治佳織が辛うじて聴けた。▼編集子はボケが進み1年も経つと誌面編集アプリの操作を忘れてしまっている。我が1マックも3年前に買ったものがこちらも老化が始まって、買い替えを勧められた。▼なんとか新しい血液を入れ替えて(初期化)買い替えは免れた。しかしアプリのバージョンがアップされていてそれをマスターするのに時間がかかる。編集上の乱れやミスがあるかもしれない。どなたかこの仕事を引き継いでもらいたいと切望している。あるのは時間だけ。(和)

